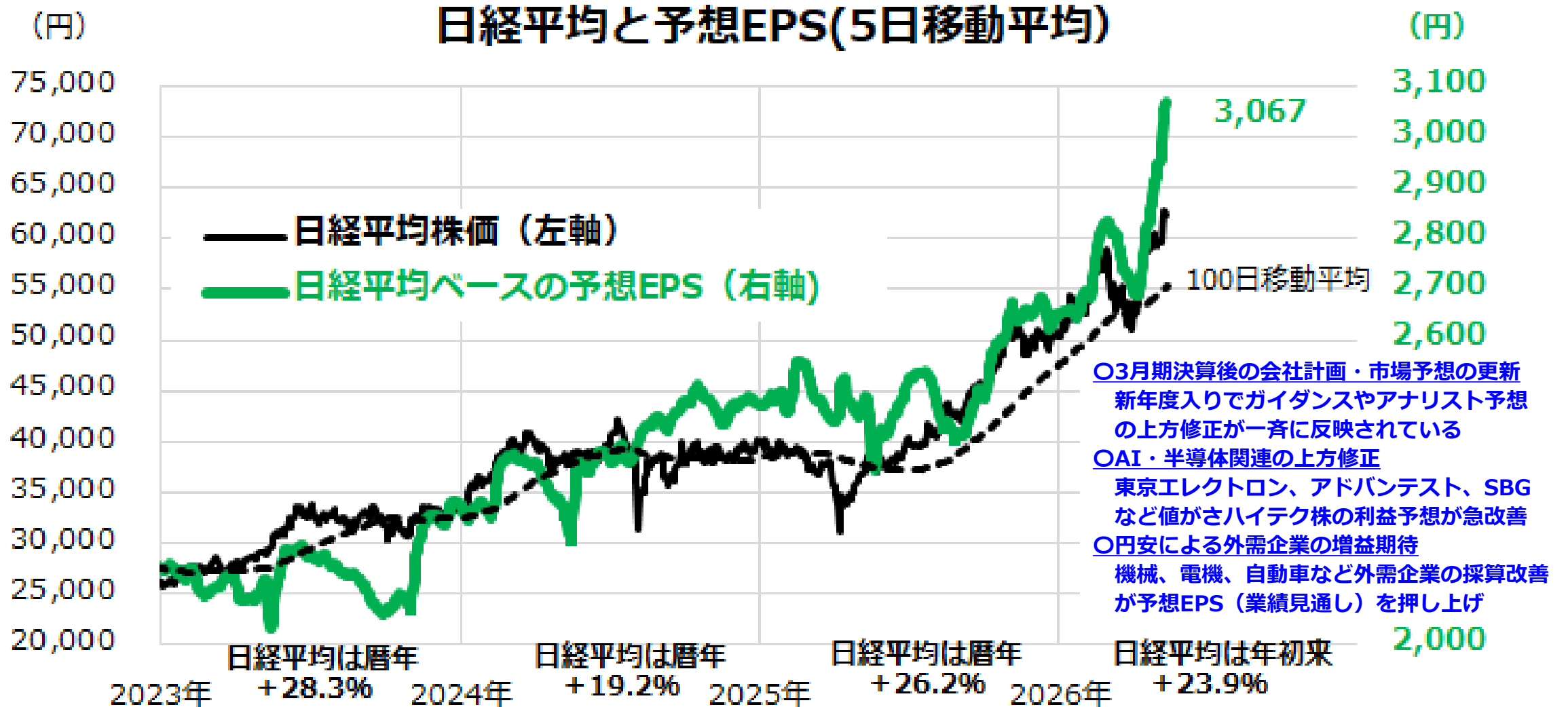


# 予想EPSの上振れが日経平均の堅調を後押し

「AI・半導体ブーム」と「戦争終結期待」に続く3つ目の株高要因

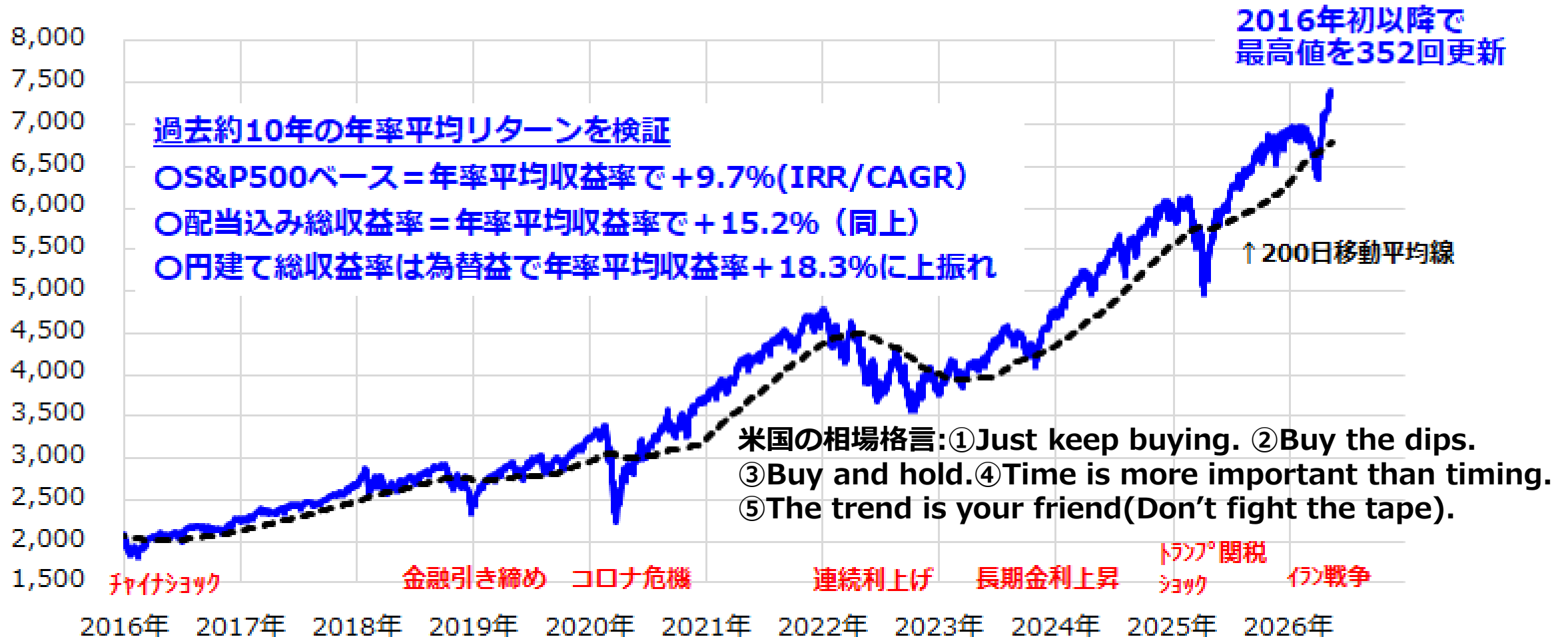


(出所) 日経平均ベースの予想EPS (日経平均プロフィール/今期予想 (加重平均) =会社予想と市場予想コンセンサスの合成) の5日移動平均

# 米国株の底堅さが示す長期投資の優位性

高値更新を繰り返す相場では、長期保有と押し目買いを組み合わせる姿勢が有効

## S&P500指数の推移（日次終値）〈過去約10年〉

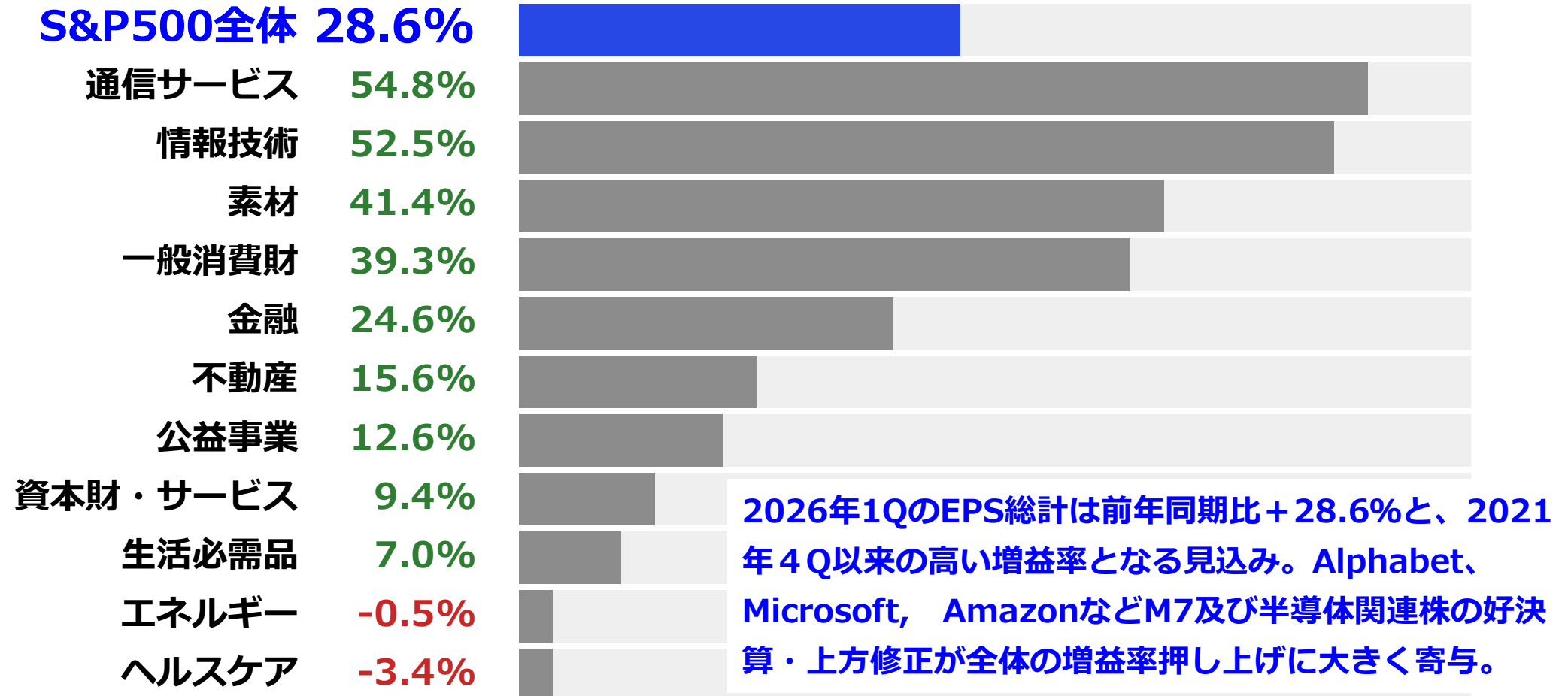


# 米国決算はM7・半導体主導で好調を鮮明に

2026年1Qの大幅増益見通しが、米国株式の強気相場を業績面から支える

## S&P 500 2026年第1Q（1-3月期）EPS総計の前年同期比増減益率

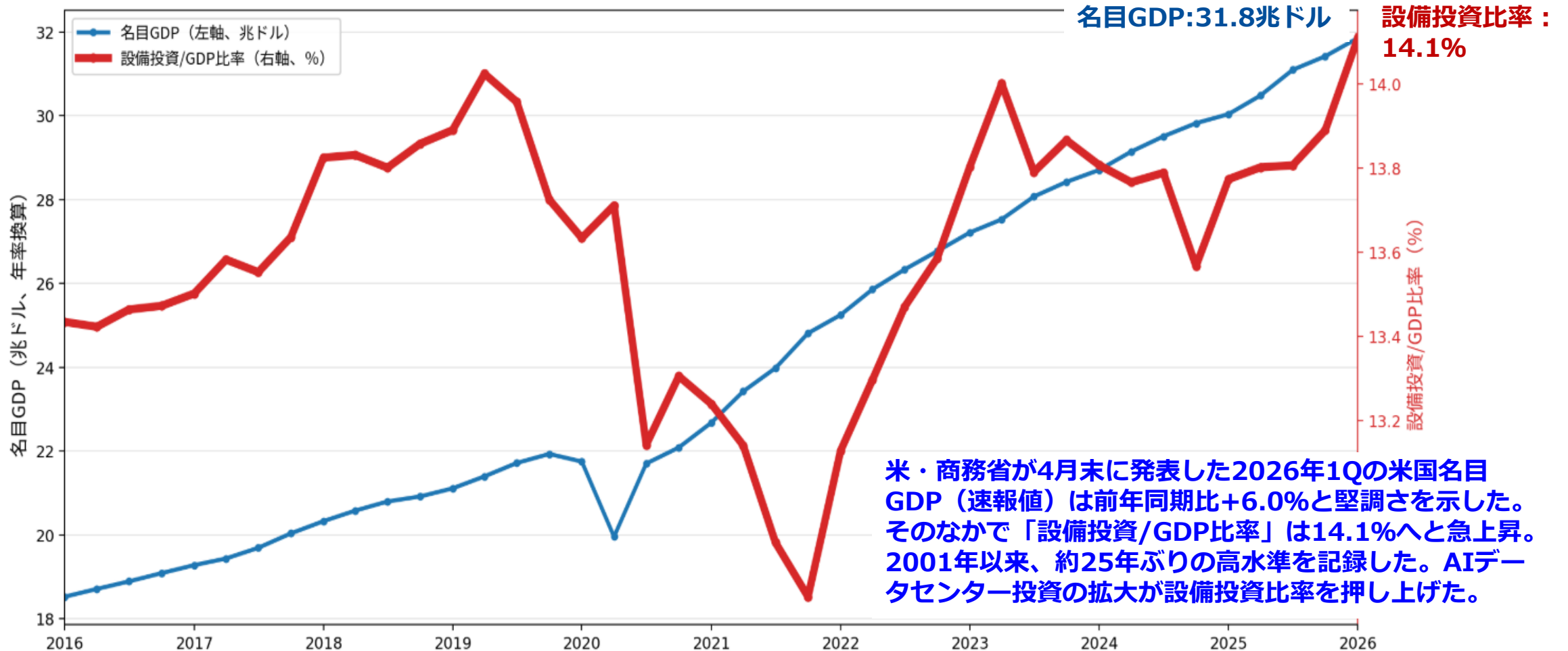
<S&P500社のうち440社が決算発表した5月8日時点>



# AI投資ブームが米国の設備投資を押し上げ

データセンター建設の拡大が、名目GDPと設備投資比率の上昇を同時に牽引

## 名目GDP額と「設備投資/GDP比率」 (四半期別/2016年以降)



(出所) 商務省BEAのGDP統計/FRED、設備投資 = Private Nonresidential Fixed Investments(季節調整済み年率換算) より作成

# 6月以降（予定）の大型IPO期待が成長テーマを刺激

SpaceX・OpenAI・Anthropicの上場観測が、AI・宇宙関連への資金循環を促す可能性

企業名	SpaceX	OpenAI	Anthropic
ビジネスモデル	ロケット打ち上げ × Starlink（衛星通信） × Starship（宇宙インフラ） 25年売上高：約150～160億ドル、EBITDA約80億ドル	ChatGPT（個人向け生成AI）、企業向けAIサービス、API/AIインフラ 25年売上高：約130億ドル、26年初ARR(年率経常収益)：約200億ドル	法人向け生成AI「Claude」 / Claude Code、企業向けAI導入支援・モデルを提供 25年末ARR：約90億ドルから急拡大
推計企業価値（時価総額）	約1.75兆ドル	8,520億ドル～1兆ドル	3,800億ドル～1兆ドル
市場インパクト（予想）	史上最大級のIPO候補。宇宙・防衛・衛星通信への資金流入期待を高める。Starlink加入者は1,000万超とされ、未上場大型成長株の再評価や将来的な指数組み入れ期待も大きい。	生成AIブームの象徴的IPO。半導体、クラウド、データセンター関連の再評価につながる可能性。大株主であるSBG（9984）のNAVと株価への影響度が大きい。	OpenAIに続く大型AI案件として、AI専門企業への投資マネーを呼び込みやすい。企業向けAI、コーディングAI、モデル複線化需要を市場が意識する材料に。
総括	<ul style="list-style-type: none"><li>● 3社合計の時価総額は3兆ドル（約470兆円）規模からさらに上振れ余地。2026年の米国IPO市場の主役候補。</li><li>● SpaceXは宇宙・衛星通信関連、OpenAI・AnthropicはAI・半導体・クラウドへの資金循環を促す可能性。</li><li>● OpenAI上場はSBG（9984）のNAV（純資産価値）評価と株価に影響し、日経平均の変動要因にもなり得る。</li></ul>		